

2016年4月8日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2016年13号)

リオ市内イパネマ地区でナイフ使用の強盗事件が発生

当地主要紙「オ・グローボ」によれば、4月7日(水)夜、イパネマ地区の海岸で男性2名がナイフで刺される強盗事件が発生しています。

1 発生日時

4月7日(水)夜

2 発生場所

リオ市イパネマ地区海岸(ポスト8番と9番の間付近)

3 発生状況

被害男性2名が上記イパネマ海岸の波打ち際を歩いていたところ、2名のナイフを所持した(少年と思われる)男2名に脅された。被害者のうち1名が抵抗したところ、ナイフで少なくとも3箇所を刺された。その後もう一人も背中をナイフで刺された上、石で顔を殴られて怪我を負った。被害者2名はすぐに救急車で搬送され、治療を受けたが、8日現在、両名の容態は不明。

同じく8日現在、当事件の犯人が逮捕された他の情報はない。

4 留意事項

- (1) 常に周囲に気を配り、危険を感じたら安全を確保する退避行動を取りましょう。
- (2) 波打ち際は、道路等からの見通しが悪く、犯人にとっては「狙いやすい場所」と言えます。特に夜間の波打ち際は注意が必要です。
- (3) 万が一強盗に遭ってしまった場合は、決して抵抗せず、素直に相手の要求に応じて下さい。